

樹木害虫の紹介

チャドクガ（茶毒蛾）	
発生樹木	ツバキ・サザンカ類
発生時期	1回目：4月下旬～6月 / 2回目：8月～9月
特徴	<p>ツバキ、サザンカなどのツバキ科の植物に発生するドクガです。</p> <p>ツバキやサザンカに毛虫がついていたら、この毛虫と考えて間違いありません。</p> <p>5月頃に1回目の幼虫が発生します。8月頃にも第2回目の幼虫が発生します。</p> <p>卵から成虫になるまで毒針毛（どくしんもう）で守られています。この毛に触れると、かゆみをともなって赤く腫れます。その後、かゆみが長く続きます。触れた直後であればテープなどで周辺をそっとおさえて毒針毛を取り除き、その後、流水で流します。掻いたり擦ったりすると被害が広がってしまいます。</p> <p>抜け殻にも毒針毛が残りますので、毛虫がいなくてもツバキ、サザンカにはできるだけ近寄らないよう、注意してください。</p> <p>小さいうちは、集団できれいに並び、葉の縁を食べます。→</p>



タケノホソクロバ	
発生樹木	タケ・ササ類
発生時期	1回目：5月頃 / 2回目：7月頃 / 3回目：10月頃
特徴	<p>タケやササに発生する毛虫です。</p> <p>年に2～3回発生します。</p> <p>葉の裏に集団でつき、緑の部分だけ食べて筋だけを残すので葉の表面が白く見えます。</p> <p>幼虫は毒針毛を持ち、触れると痛みがあり、かぶれます。</p>



イラガ類	
発生樹木	サクラ・カキ・モミジ・ケヤキ等
発生時期	1回目：5月下旬～6月 / 2回目：8月頃
特徴	<p>イラガには多くの種類があり、様々な種類の木に発生します。</p> <p>小さなうちは密集して葉を食べます。</p> <p>触れた瞬間に痛みがあります。電気に触れたようにピリリとするため、デンキムシとも言われます。</p>



モンクロシャチホコ

発生樹木 サクラ・ウメ等

発生時期 8月下旬～9月

特徴
小さいうちは赤褐色をしていて集団で葉を食べます。成長するにつれて黒紫色になってきます。
9月頃になり、ある程度大きくなると地中に潜ってさなぎになるために木から降りてきます。



アメリカシロヒトリ

発生樹木 サクラ・プラタナス・モミジ・ハナミズキ・カキ等

発生時期 5月～8月（年に2～3回発生を繰り返します。）

特徴
小さいうちは枝の又や小枝等にクモの巣のような巣をつくり集団で過ごします。
その後、巣から出てきて分散して葉を食べます。



オビカレハ

発生樹木 サクラ・ウメ等

発生時期 3月～5月

特徴
小さいうちは枝の又等にクモの巣のような巣をつくり集団で過ごします。
その後、巣から出てきて葉を食べます。

